



## ご挨拶

日頃から市政へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

コロナウイルス感染症は、変異を重ねるたびに感染拡大の波が大きくなり、一向に収まる気配がありません。感染予防の努力を続けながらコロナと闘っていかねばなりません。

今しばらくお互いに頑張ってください。

昨年より神戸市会の経済港湾委員会の副委員長を務めておりましたが、今年7月より、建設防災委員会の副委員長を拝命いたしました。引き続き皆様からのご要望やご意見をいただき、諸課題をしっかりと受け止めて活動を続けて参ります。今回の市政報告は、6月の経済港湾委員会、7月での建設防災委員会での私の発言についてご報告させていただきます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 令和4年 建設防災委員会(7月6日)質疑

### ■ 建設局 菊水町10丁目交差点、鶴越交差点について質疑

**平野達司** 西神戸有料道路が無料になってから、湊町線、山麓線、夢野白川線に、大型トラック、コンテナ車が多く流れ込んでいる。

近隣の皆さんからは、騒音の苦情もあり、騒音を抑える舗装などをして努力していることも十分認識している。その中で、東山菊水線、通称そうれん道が、現在、事業計画が進んでいるが、その完了と同時に、菊水町10丁目の交差点、山麓線と夢野白川線の交差する鶴越の交差点を改良すると聞いている。



菊水町10丁目事故現場

そうした中で、6月29日の朝7時20分に、山麓線から夢野白川線に行く大型トレーラーが、菊水町10丁目の交差点のカーブで横転事故を起こした。現地では、実は3回目、全てトラックが事故を起こしており、バス停の3つの屋根のうち、2つが吹っ飛んでいるような状況。

幸いにも事故直前に市バスが来て、乗客は被害に遭わなかった。しかしこの場所は、夢野の丘小学校、夢野中学校、夢野台高校の通学路として利用されており、狭い場所で危険ではないか、建設局として、人命第一としてどのような対応を考えているのか。

**林建設局長** 事故ですが、6月29日の7時20分、山麓線で西行きの車両(トレーラー)が菊水町10丁目の交差点、緩やかに右に曲がるカーブで横転をした。幸いにも人身事故は、この運転手の方が軽症だった程度で済んだ。

警察が速度なのか、運転に問題があるのか、積荷なのか原因は調査中です。

建設局は、非常に重大な関心、問題意識を持っている。

事故原因の調査の結果を待つことなく、できることは速やかに実施していきたい。一つの一般的な対応として、カーブですので、減速を促進させる施策が考えられる。そして、一つには車線、境界線なり外側線に、その周りにドットラインをつけ、車道を狭く見せること。これにより、ドライバーは非常に車道が狭いというイメージを持ち、減速効果がある。